

ひまわり



令和2年6月4日(木)

私には夢がある



「……私には夢がある。私の4人の子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。……いつの日か、そのアラバマでさえ、黒人の少女少女が白人の少女少女と兄弟姉妹として手をつなげるようになるという夢である。今日、私には夢がある。」

これは、人種差別撤廃運動の指導者であり牧師でもあった、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア（キング牧師）の有名な演説の一節です。（裏面に原文）

彼が生きた時代、アメリカではまだまだ激しい人種差別がありました。白人以外の有色人種や少数民族に対する差別です。例えば、黒人と白人では、ホテルの入り口や、バスや列車の座席が明確に区別されていました。これら以外にも、多くの差別事象が存在しました。

彼は、このような不合理に異を唱え、立ち上がったのでした。しかし、暴力という手段には訴えず、民主的・平和的解決を目指しました。キング牧師の演説には、「黒人も白人も平等に」という願いが込められています。同時に「黒人はこれまで差別を受けてきたけれど、それも許しましょう。許すことで全てを受け入れます、という思いがあります。これは、上記演説の下線部の言葉に集約されているのではないのでしょうか。

しかし、被差別側からすれば、差別をした側を許すことはなかなかできないものです。だからといって、いつまでも、差別されたことについての憎しみを抱きながら生き続けることを、彼はよしとはしませんでした。このような考えと行動が、1964年のノーベル平和賞受賞につながります。受賞理由は、「アメリカ合衆国における人種偏見を終わらせるための非暴力運動」でした。

社会を見渡せば、まだまだ差別や偏見が多く存在しています。世の中の不合理に対して、それをしっかり見抜く力をつけ、解決に向けて行動することが、差別や偏見のない平和な世界をつくることにつながるのです。

Martin Luther King Jr. (1929-1968)

アメリカ・ジョージア州生まれ。キリスト教牧師。アフリカ系アメリカ人。公民権運動の指導者。上記演説は 1963 年にワシントン D.C で行われたもの。1964年にノーベル平和賞を受賞。1968年、遊説活動中に暗殺される。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。



— I Have A Dream! — 私には夢がある!

August 28, 1963 1963年8月28日

I have a dream that one day on the red hills of Georgia, the sons of former slaves and the sons of former slave owners will be able to sit down together at the table of brotherhood.

I have a dream that one day even the state of Mississippi, a state sweltering with the heat of injustice, sweltering with the heat of oppression, will be transformed into an oasis of freedom and justice.

I have a dream that my four little children will one day live in a nation where they will not be judged by the color of their skin but by the content of their character.

I have a dream today!

I have a dream that one day, down in Alabama, with its vicious racists, with its governor having his lips dripping with the words of "interposition" and "nullification" -- one day right there in Alabama little black boys and black girls will be able to join hands with little white boys and white girls as sisters and brothers.

I have a dream today!

「私には夢がある。それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、かつての奴隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟として同じテーブルにつくという夢である。

私には夢がある。それは、いつの日か、不正と抑圧の炎熱で焼けつくかばかりのミシシッピ州でさえ、自由と正義のオアシスに変身するという夢である。

私には夢がある。それは、いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。

今日、私には夢がある。

私には夢がある。それは、邪悪な人種差別主義者たちのいる、州権優位や連邦法実施拒否を主張する州知事のいるアラバマ州でさえも、いつの日か、そのアラバマでさえ、黒人の少年少女が白人の少年少女と兄弟姉妹として手をつなげるようになるという夢である。

今日、私には夢がある。」

引用: About the USA <http://aboutusa.japan.usembassy.gov/j/jusaj-majordocs-king.html>

*アメリカで人種差別撤廃を訴え活動したアフリカ系アメリカ人のキング牧師の演説の一節。当時、人種差別撤廃に向け1963年(昭和38年)に訴えた「夢」。